

伝えたい

まちの遺産

絶滅が心配される
ダーウインの申し子
ヤシャゲンゴロウ

ヤシャゲンゴロウの近縁種
のメスジゲンゴロウは福井
県より北に広く生息していま
す。ヤシャゲンゴロウ(本種)
はどうして夜叉ヶ池だけに生
息しているのでしょうか。

◎固有種の生じた謎

本種がこの池を唯一の住み家とした訳は、こ
の池が他の池と違った特殊な地形を含む環境条
件を持っていると考えられます。

本種は長い歴史を経てこの池に適応した独自
の生活を作り上げ、今日まで生き延び、独自の
進化を行ったと言えます。いわゆるダーウイン
の進化論の中の隔離による進化がこの身近な夜
叉ヶ池で生じたと考えられるのです。

本種が昆虫の進化を解明する鍵を握って今な
おこの夜叉ヶ池に生存していることは学術的に
大変貴重なことと言え
ます。

◎環境状況の悪化

長年夜叉ヶ池を観察
している人達の中で近
年ゲンゴロウの姿が少
なくなつたとの話を多
く耳にします。一部の
専門家によると、この
減少傾向は絶滅の危機



状態の警鐘であるとも言っています。

何故このような状況になったのでしょ
う。その原因の第一は、地球温暖化と酸
性雨によるもので、池の水温上昇が本種
の活動に直接悪影響を与えていること
と、幼虫期の餌となるミジンコの発生を
減少させたり、池全体の食物連鎖に異変
が生じていることが考えられています。

次に急激に増加した登山客による影響
も否定出来ません。登山靴で削られ、砕
かれ細かくなった土が降る雨で池に流れ
込み、池の生態系を大きく変化させてい
るのです。池周辺に木道を造り産卵場所
や土藪つちまの踏み荒しは一応防げたものの泥
の流れ込みには歯止めがかからないのが
現状です。

◎人工増殖の現状

平成十八年度より、町のご支援と地元
の人々の支援を受け、環境省・農林水産
省の請負業務として本種の人工増殖を実
施しています。基礎的な研究資料がなく
ゼロからの出発は戸惑いが多く、試行錯
誤の連続です。一つ一つのデータを蓄積
し、近い将来には、人工増殖の技術を完
成し、夜叉ヶ池と山麓の飼育場の連携に
より、本種が安定した環境で存続出来る
ことを目指しています。

この事業を通じて、南越前町から「人々
が創る動植物共存共生の自然界」のモデ
ルプランを発信したいものです。
(ヤシャゲンゴロウを育てる会

会長 奥野 宏



ウォーターランド通信

ウォーターランド南条 ☎47・3711

◎おすすめマシーン

ジムに設置されている体成分測定器は、家庭用の体重体脂
肪計と違いプロ仕様。それぞれの測定精度はとても高く、常
に正確な結果を求めることができます。測定結果から、不足
している部分や項目ごとのバランスがは
っきりわかるため、これから行う運動の種類
や強さを決めていけるので、目標も立てや
すいですね。ウォーターランドで測定して
みませんか？(マシンの使用は無料です)



◎イベント情報

『サタデーナイト you goo』

7月12日までの毎週土曜の夜は、プール内の遊具を無
料開放したり、フロントで空クジなしのミニ抽選会を実施
中。是非、ご家族でお越しください。

南条地区文化協議会30周年記念発表会

作品展示、舞台発表で、日頃の練習成果を発表します。
記念発表会ですので講師の方々の舞台出演などもあり
ます。また、今庄・河野地区文協の方々の参加も予定
しています。ぜひ、お越しください。

日時 6月29日(日) 会場 南条文化会館

作品展示 午前9時～午後4時30分

舞台発表 午後1時～午後4時30分

問合せ 南条地区文化協議会

(教育委員会事務局内) ☎47・8005)